

〔決算様式 1〕

事業報告書
(自 令和 4 年 4 月 1 日 至 令和 5 年 3 月 31 日)

1 医療法人の概要

- (1) 名称 社会医療法人 杏嶺会
- ① ☐ 財団 ☒ 社団 (☒ 出資持分なし ☐ 出資持分あり)
- ② ☒ 社会医療法人 ☐ 特別医療法人 ☐ 特定医療法人
- ☐ 出資額限度法人 ☐ その他
- ③ ☐ 基金制度採用 ☒ 基金制度不採用
- 注) ①から③のそれぞれの項目 (③は社団のみ。) について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)
- (2) 事務所の所在地 愛知県一宮市奥町字下口西 89 番地の 1
- 注) 複数の事務所を有する場合は、主たる事務所と従たる事務所を記載すること。
- (3) 設立認可年月日 昭和 63 年 3 月 3 日
- (4) 設立登記年月日 昭和 63 年 3 月 3 日
- (5) 役員

	氏 名	備 考
理 事 長	上林 弘和	一宮西病院管理者 (院長)
理 事	上林 公子	社会福祉法人杏嶺会理事長
同	宮田 英雄	一宮西病院 元名誉院長
同	多羅尾 信	尾西記念病院管理者 (院長)
同	山田 尚登	上林記念病院管理者 (院長)
同	伊藤 隆夫	いまいせ心療センター管理者 (院長)
同	山木 健市	老人保健施設やすらぎ管理者 (施設長)
同	関戸 一正	関戸機鋼(株) 代表取締役
同	水野 浩司	熊野油脂(株) 代表取締役
同	栢森 雅勝	(株)ダイコク電機 代表取締役
監事	前田 憲昭	前田憲昭税理士事務所 税理士
同	一木 弘之	税理士法人タスクマネジメント元副所長

- 注) 1. 「社会医療法人、特別医療法人及び医療法第 42 条の 3 第 1 項の認定を受けた医療法人」以外の医療法人は、記載しなくても差し支えないこと。
2. 理事の備考欄に、当該医療法人の開設する病院、診療所又は介護老人保健施設 (医療法第 4 2 条の指定管理者として管理する病院等を含む。) の管理者であることを記載すること。(医療法第 4 7 条第 1 項参照)
3. 評議員の備考欄に、評議員の選任理由を記載すること。(医療法第 4 9 条の 4 参照)

2 事業の概要

- (1) 本来業務（開設する病院、診療所又は介護老人保健施設（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の業務）

種 類	施設の名称	開 設 場 所	許可病床数
病院	上林記念病院	愛知県一宮市奥町字下口西 89 番地の 1	一般病床 60 床 療養病床 197 床 精神病床 188 床
病院	一宮西病院	愛知県一宮市開明字平 1 番地	一般病床 497 床 (うち 32 床臨時)
病院	いまいせ心療センター	愛知県一宮市今伊勢町宮後字郷中茶原 30 番地	精神病床 178 床 (うち 22 床臨時)
病院	尾西記念病院	愛知県一宮市富田字宮東 1718 番地 1	一般病床 96 床 療養病床 41 床
介護老人 保健施設	老人保健施設やすらぎ	愛知県一宮市奥町字下口西 74 番地の 1	入所定員 100 名 通所定員 100 名

注) 1. 地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者として管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を【 】書で記載すること。

3. 介護老人保健施設の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

- (2) 附帯業務（医療法人が行う医療法第42条各号に掲げる業務）

種類又は事業名	実 施 場 所	備 考
訪問看護ステーションやすらぎ	愛知県一宮市奥町字下口西 72 番地の 1	
介護保険相談センターやすらぎ	愛知県一宮市奥町字下口西 72 番地の 1	
一宮市地域包括支援センターやすらぎ【一宮市から委託を受けて管理】	愛知県一宮市奥町字下口西 72 番地の 1	
障がい者相談支援センターやすらぎ 【愛知県、一宮市から委託を受けて管理】	愛知県一宮市奥町字下口西 89 番地 1	
訪問看護ステーションびさい	愛知県一宮市富田字宮東 1718 番地 1	
介護保険相談センターびさい	愛知県一宮市富田字宮東 1718 番地 1	
はーとびあうる	愛知県一宮市奥町字下口西 73 番地 1	
ヘルパーステーションやすらぎ	愛知県一宮市奥町字下口西 72 番地の 1	
訪問看護ステーションあんず	愛知県一宮市奥町字下口西 89 番地 1	
介護保険相談センターあゆむ	愛知県一宮市末広 2 丁目 27 番 7 号	
リハカフェデイサービスあゆむ	愛知県一宮市末広 2 丁目 27 番 7 号	
あんず保育所	愛知県一宮市開明字東石亀 14 番地	
認知症初期集中支援センターいまいせ【一宮市から委託を受けて管理】	愛知県一宮市今伊勢町宮後字郷中茶原 30 番地	

注) 地方公共団体から委託を受けて管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

(3) 収益業務（社会医療法人又は特別医療法人が行うことができる業務）

種 類	実 施 場 所	備 考
あんず農園	愛知県一宮市開明字東石亀 36 番地 2	

(4) 当該会計年度内に社員総会・理事会で議決又は同意した事項

令和 4 年 6 月 15 日

- ① 令和 3 年度決算承認の件
- ② 訪問看護ステーションあんず及び障害者相談支援事業所いまいせの移転に伴う定款変更の件

令和 5 年 2 月 24 日

- ① リハカフェデイサービスもりもと、介護保険相談センターもりもとの事業所開設にともなう定款変更の件
- ② 認知症初期集中センターいまいせの移転に伴う定款変更の件

令和 5 年 3 月 30 日

- ① 令和 5 年度事業計画書承認の件
- ② 令和 5 年度の借入金最高限度額設定の件
- ③ 尾西記念病院廃止（閉院）及びそれに伴う定款変更の件
- ④ 介護保険相談センターびさい、訪問看護ステーションびさい廃止及びそれに伴う定款変更の件
- ⑤ 尾西記念病院（介護保険相談センターびさい、訪問看護ステーションびさいを含む）の資産の社会福祉法人杏嶺会への寄付、及び尾西記念病院の土地建物の担保解除、ならびにそれに伴う借入金返済

注) 以下については、病院又は介護老人保健施設を開設する医療法人が記載し、診療所のみを開設する医療法人は記載しなくても差し支えないこと。

(5) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設

- ・リハカフェデイサービスもりもと
- ・介護保険相談センターもりもと

(6) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容

該当なし

注) 全ての指定内容について記載しても差し支えない。

(7) そ の 他

・工事

- ① 一宮西病院 手術棟増築工事
- ② 一宮西病院 駐車場造成工事
- ③ 一宮西病院 B棟増築における医療ガス設備工事

・医療機器の購入

- ① 一宮西病院 手術用顕微鏡 TIVATO
- ② 一宮西病院 超音波診断装置 EPICelite
- ③ 一宮西病院 コニカミノルタ FPD システム AeroDR 一式

・器具・備品の購入

- ① 一宮西病院 鋼製器具管理システムサーバー一式

注) 当該会計年度内に行われた工事、医療機器の購入又はリース契約、診療科の新設又は廃止等を載する。(任意)

法人名 社会医療法人 杏嶺会

※医療法人整理番号 326

(※ 上記は記載する必要なし)

所在地 愛知県一宮市奥町字下口西89番地の1

貸 借 対 照 表

(令和5年3月31日 現在)

(単位:千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	25,396,791	I 流 動 負 債	10,209,819
現 金 及 び 預 金	18,776,527	買 掛 金	1,318,960
事 業 未 収 金	5,614,842	短 期 借 入 金	5,008,000
未 収 金	40,127	1年以内返済長期借入金	801,254
た な 卸 資 産	303,993	リ ー ス 債 務	97,879
貯 蔵 品	825	未 払 金	960,794
前 払 費 用	65,552	未 払 費 用	1,040,731
未 収 収 益	602,237	未 払 法 人 税 等	17,217
役員従業員短期貸付金	10,304	未 払 消 費 税 等	6,359
貸 倒 引 当 金 △	18,619	前 受 金	54,603
そ の 他 の 流 動 資 産	1,001	預 り 金	3,301
		従 業 員 預 り 金	146,166
		賞 与 引 当 金	754,549
II 固 定 資 産	20,216,412	II 固 定 負 債	8,578,918
1 有 形 固 定 資 産	18,985,937	長 期 借 入 金	3,984,180
建 築 物	8,489,266	長 期 未 払 金	14,553
医 療 用 器 械 備 品	403,571	長 期 前 受 収 益	905
そ の 他 の 器 械 備 品	699,849	退 職 給 付 引 当 金	3,298,579
車 両 及 び 船 舶	150,273	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	1,280,700
一 括 償 却 資 産	29,565		
土 地	22,080		
建 設 仮 勘 定	3,235,891		
2 無 形 固 定 資 産	5,955,438	負 債 の 部 合 計	18,788,737
ソ フ ト ウ ェ ア	297,135	純 資 産 の 部	
電 話 加 入 権	292,394	科 目	金 額
借 地 権	1,713	I 積 立 金	26,824,466
3 そ の 他 の 資 産	3,027	設 立 等 積 立 金	2,765,166
出 資 金	933,339	繰 越 利 益 積 立 金	24,059,299
役員従業員長期貸付金	23,352		
長 期 前 払 費 用	4,263		
敷 金	462,602		
差 入 保 証 金	58,235		
保 険 積 立 金	30,500		
預 託 金	353,804		
	582		
		純 資 産 の 部 合 計	26,824,466
資 産 の 部 合 計	45,613,203	負 債 ・ 純 資 産 の 部 合 計	45,613,203

法人名 社会医療法人 杏嶺会
所在地 愛知県一宮市奥町字下口西 8 9 番地の 1

※医療法人整理番号 326
(※ 上記は記載する必要なし)

損 益 計 算 書

(自 令和4年 4 月 1 日 至 令和5年 3 月 3 1 日)

(単位：千円)

科 目		金 額	
I 事業損益			
A 本来業務事業損益			
1 事業収益			36,602,076
2 事業費用			
(1) 事業費	29,669,604		
(2) 本部費	783,676		30,453,280
本来業務事業利益			6,148,796
B 附帯業務事業損益			
1 事業収益			927,393
2 事業費用			831,511
附帯業務事業利益			95,881
C 収益業務事業損益			
1 事業収益			997
2 事業費用			10,597
収益業務事業損失			9,599
事業利益			6,235,078
II 事業外収益			
受取利息	183		
その他の事業外収益	6,453		6,636
III 事業外費用			
支払利息	61,072		
その他の事業外費用	16,007		77,080
経常利益			6,164,634
IV 特別利益			
固定資産売却益	2,399		
補助金収入	488,319		490,718
V 特別損失			
固定資産除却損	692		
固定資産圧縮損	488,319		489,012
税引前当期純利益			6,166,341
法人税・住民税及び事業税	17,217		
法人税等調整額	-		17,217
当期純利益			6,149,123

様式第三号

法人名 社会医療法人 杏嶺会
所在地 愛知県一宮市奥町字下口西 8 9 番地の 1

※医療法人整理番号

			3	2	6
--	--	--	---	---	---

(※ 上記は記載する必要なし)

財 産 目 録
(令和5年 3 月 3 1 日 現在)

1. 資	産	額	45,613,203 千円
2. 負	債	額	18,788,737 千円
3. 純	資 産	額	26,824,466 千円

(内 訳)

(単位：千円)

区 分	金 額
A 流 動 資 産	25,396,791
B 固 定 資 産	20,216,412
C 資 産 合 計 (A + B)	45,613,203
D 負 債 合 計	18,788,737
E 純 資 産 (C - D)	26,824,466

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地 (☐法人所有 ☐賃借 ☒部分的に法人所有 (部分的に賃借))

建 物 (☐法人所有 ☐賃借 ☒部分的に法人所有 (部分的に賃借))

監 事 監 査 報 告 書

社会医療法人 杏 嶺 会

理事長 上 林 弘 和 殿

私たち（注）は、社会医療法人 杏嶺会 の令和3年会計年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私たちは、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書の監査を実施しました。

記

監査結果

- （1）事業報告書は、法令及び定款（寄附行為）に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- （2）会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- （3）計算書類は、法令及び定款（寄附行為）に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- （4）理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款（寄附行為）に違反する重大な事実はありません。

令和5年 5 月 31 日

社会医療法人 杏 嶺 会

監 事 前田 憲昭

監 事 一木 弘之

（注） 監査人が複数の場合には、「私たち」とする。

様式第四号

※医療法人整理番号 326

法人名 社会医療法人 杏嶺会

所在地 愛知県一宮市奥町字下口西 8 9 番地の 1

純資産変動計算書

(自 令和4年 4 月 1 日 至 令和5年 3 月 3 1 日)

(単位:千円)

	積立金			純資産合計
	設立等積立金	繰越利益積立金	積立金合計	
令和4年3月31日 残高	2,765,166	19,119,802	21,884,969	21,884,969
会計方針の変更による 累積的影響額	-	△ 1,209,626	△ 1,209,626	△ 1,209,626
会計方針の変更を反映した 令和4年4月1日 残高	2,765,166	17,910,176	20,675,342	20,675,342
会計年度中の変動額	-	-	-	-
当期純利益	-	6,149,123	6,149,123	6,149,123
会計年度中の変動額合計	-	6,149,123	6,149,123	6,149,123
令和5年3月31日 残高	2,765,166	24,059,299	26,824,466	26,824,466

重要な会計方針等の記載及び貸借対照表等に関する注記

1 継続事業の前提に関する事項

該当事項はありません。

2 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

原価法を採用しております。

尚、売却原価は個別法により算定しております。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法を採用しております。

3 固定資産の減価償却法

(1) 有形固定資産

定率法を採用しております。

ただし、平成 10 年 4 月 1 日以降に取得した建物（附属設備は除く）及び、平成 28 年 4 月 1 日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法を採用しております。

なお、取得価額 10 万円以上 20 万円未満の資産については、3 年均等償却を採用しております。

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

(3) 長期前払費用

期間均等償却を採用しております。

4 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒損失に備えるため、正常債権については過去 3 年の貸倒実績率により計算した金額、回収困難見込債権については、債権額の 90% を回収不能見込額として計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上しております。

(3) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当会計年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当会計年度末までの期間に帰属させる方法については、期間定額基準によっております。数理計算上の差異は、発生時に一括費用処理しております。

(4) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、当法人内規に基づく期末要支給額を計上しております。

5 消費税及び地方消費税の会計処理の方法

消費税等の会計処理は税抜方式を採用しております。

資産に係る控除対象外消費税等については、発生年度に費用処理しております。

6 その他貸借対照表等作成のための基本となる重要な事項

(1) リース取引開始日が、前々会計年度末日の負債総額が 200 億円未満である会計年度の所有権移転外ファイナンス・リース取引については賃貸借処理によっております。

(2) 補助金等の会計処理

固定資産の取得にかかる補助金等については、直接減額方式（固定資産の取得時に取得原価から直接減額する方法）を採用しております。なお、損益計算書においては当該補助金等を特別利益に計上するとともに、固定資産取得原価から直接減額した額を特別損失に計上しております。

7 重要な会計方針を変更した旨等

当会計年度より、当医療法人の退職給付債務の計算方法を簡便法から原則法に変更しております。この変更は、「医療法人 会計基準」（平成 28 年厚生労働省令第 95 号。）及び「医療法人会計基準適用上の留意事項並びに財産目録、純資産変動計算書及び附属明細表の作成方法に関する運用指針」（平成 28 年医政発 0420 第 5 号。）において、前々会計年度末の負債総額が 200 億円未満の場合には簡便的な会計処理の採用が容認されていますが、当会計年度において、翌会計年度末の負債総額が 200 億円を超えることが合理的に見込まれる状況になったこと等を勘案し、退職給付債務計算の見積りの精度を高め、退職給付費用を期間損益計算により適切に反映できると判断したためです。

当該会計方針の変更により退職給付引当金の期首残高は 1,209,626 千円増加し、当該影響額は期首の繰越利益積立金に反映しております。純資産変動計算書は監査対象ではありません。

8 資産及び負債のうち収益業務に関する事項・収益業務からの繰入金の状況に関する事項

(1) 収益事業 資産負債（千円）

資産	27,917
負債	134,641

(2) 収益事業の繰入金に関する事項

変動なし

9 担保に供されている資産に関する事項

(1) 担保に供されている資産 (千円)

土地	1,878,739
建物	6,390,462
合計	8,269,201

(2) 担保に係る債務 (千円)

短期借入金	5,008,000
1年以内返済予定の長期借入金	801,254
長期借入金	3,984,180
合計	9,793,434

10 法第51条第1項に規定する関係事業者に関する事項

(1) 法人である関係事業者

該当事項はありません。

(2) 個人である関係事業者

該当事項はありません。

11 重要な偶発債務に関する事項

該当事項はありません。

12 重要な後発事象に関する事項

該当事項はありません。

13 その他医療法人の財政状態又は損益の状況を明らかにするために必要な事項

(1) 賃貸借をしたファイナンス・リース取引

科目	リース料総額 (千円)	未経過リース料 (千円)
車両及び船舶	91,875	18,602
その他器械備品	6,098	1,684

(2) 国庫補助金等による固定資産の圧縮記帳の額は 488,319 千円であり、貸借対照表計上額は この圧縮記帳額を控除しております。また、国庫補助金等による事業収益は 2,304,113 千円を計上しております。

①圧縮記帳した固定資産

科目	圧縮記帳額 (千円)
建物	480,230
その他の器械備品	3,400
一括償却資産	4,541
ソフトウェア	146
合計	488,319

②補助金等の内訳、交付者及び貸借対照表等への影響額

内訳	交付者	損益計算書 影響額(千円)	貸借対照表 影響額(千円)
新型コロナウイルス感染症診療・検査医療機関設備整備補助金	愛知県	1,355	149
新型コロナウイルス感染症対策事業補助金	愛知県	12,224	-
オンライン資格確認等の導入に必要となる資格確認端末の購入等に係る補助金	社会保険診療報酬支払基金	1,903	1,903
愛知県新型コロナウイルス感染症患者等入院医療機関設備整備補助金	愛知県	480,169	461,269
愛知県新型コロナウイルス感染症対策事業補助金	愛知県	2,199,750	-
看護職員等処遇改善事業費補助金	愛知県	17,954	-
新型コロナウイルス感染症患者等入院受入医療機関緊急支援事業補助金	厚生労働省	31,500	-
救急・周産期・小児医療機関院内感染拡大防止対策事業費補助金	愛知県	3,686	2,656
インフルエンザ流行期発熱外来診療体制確保支援補助金 精算金	厚生労働省	80	-
愛知県医療従事者応援金	愛知県	1,320	-
新型コロナウイルス感染症患者等入院医療機関設備整備補助金	愛知県	5,929	-
愛知県回復患者転院受入医療機関応援金	愛知県	2,795	-
介護ロボット導入支援事業費補助金	愛知県	△318	1,479
介護サービス提供体制確保事業補助金	一宮市	10,065	-
介護施設等防災対策事業補助金	一宮市	18,150	18,150
介護事業所 ICT 導入支援事業費補助金	愛知県	2,136	2,712
保育士等処遇改善臨時特例交付金	愛知県	3,233	-

保育所等新型コロナウイルス感染症対策事業保育 対策総合支援事業補助金	一宮市	500	-
合計		2,792,432	488,319

(3) 有形固定資産の減価償却累計額 16,981,908 (千円)

(4) 退職給付引当金の計算の前提とした退職給付債務などの内容

①退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表及び貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表

項目	金額 (千円)
退職給付債務の期首残高	3,170,085
勤務費用	401,411
利息費用	7,298
数理計算上の差異の発生額	△92,712
退職給付の支払額	187,502
退職給付債務の期末残高	3,298,579
退職給付引当金の期末残高	3,298,579

②数理計算上の計算基礎に関する事項

項目	当会計年度末
割引率	0.4%

様式第五号

法人名 社会医療法人 杏嶺会

※医療法人整理番号 326

所在地 愛知県一宮市奥町字下口西89番地の1

有形固定資産等明細表

資産の種類		前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	当期末減価償却 累計額又は償却 累計額	当期償却額	差 引 当期末残高
		(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
有形 固定 資産	建物	17,126,608	619,933	480,230	17,266,311	8,777,044	573,337	8,489,266
	構築物	1,043,445	94,551	231	1,137,765	734,194	50,961	403,571
	医療用器械備品	7,014,355	245,574	66,138	7,193,791	6,493,941	402,180	699,849
	その他の器械備品	1,007,789	50,084	21,726	1,036,148	885,875	75,263	150,273
	車両及び船舶	80,637	16,017	1,929	94,726	65,160	14,086	29,565
	一括償却資産	71,939	21,687	45,854	47,772	25,691	28,703	22,080
	土地	2,904,377	333,964	2,450	3,235,891	-	-	3,235,891
	建設仮勘定	2,070,396	4,394,812	509,771	5,955,438	-	-	5,955,438
	計	31,319,550	5,776,626	1,128,331	35,967,845	16,981,908	1,144,533	18,985,937
有形 固定 資産	ソフトウェア	1,189,021	58,098	26,776	1,220,343	927,948	187,859	292,394
	電話加入権	1,713	-	-	1,713	-	-	1,713
	計	1,190,734	58,098	26,776	1,222,056	927,948	187,859	294,107
そ の 他 の 資 産	出資金	23,352	-	-	23,352	-	-	23,352
	役員従業員 長期貸付金	9,283	-	5,020	4,263	-	-	4,263
	長期前払費用	405,436	62,746	5,580	462,602	-	-	462,602
	敷金	59,016	1,992	2,773	58,235	-	-	58,235
	差入保証金	30,500	-	-	30,500	-	-	30,500
	保険積立金	254,943	110,518	11,657	353,804	-	-	353,804
	預託金	477	111	7	582	-	-	582
	計	783,009	175,368	25,038	933,339	-	-	933,339

注記

1. 建物の増加要因は、一宮西病院INCC外来棟増設・移設における設備投資によるものとなっております。
2. 建設仮勘定の増加要因は、一宮西病院南病棟の建設等における設備投資によるものとなっております。

法人名 社会医療法人 杏嶺会
所在地 愛知県一宮市奥町字下口西89番地の1

※医療法人整理番号 326

引 当 金 明 細 表

区 分	前期末残高 (千円)	会計方針の変更に よる累積的影響額 (千円)	当期増加額 (千円)	当期減少額 (目的使用) (千円)	当期減少額 (その他) (千円)	当期末残高 (千円)
貸倒引当金	44,932	-	18,619	33,097	11,835	18,619
賞与引当金	707,516	-	754,549	707,516	-	754,549
退職給付引当金	1,960,458	1,209,626	315,996	187,502	-	3,298,579
役員退職慰労引当金	1,243,700	-	37,000	-	-	1,280,700

注記

貸倒引当金「当期減少額」の「その他」欄11,835千円は、洗替方式により戻し入れた金額であります。

様式第七号

法人名 社会医療法人 杏嶺会
所在地 愛知県一宮市奥町字下口西89番地の1

※医療法人整理番号 326

借入金等明細表

区 分	前期末残高 (千円)	当期末残高 (千円)	平均利率 (%)	返済期限
短期借入金	1,312,000	5,008,000	0.40	-
1年以内に返済予定の 長期借入金	980,604	801,254	0.87	-
長期借入金(1年以内に 返済予定のものを除く。)	4,785,434	3,984,180	0.77	令和6年4月30日 ～ 令和21年3月28日
その他の有利子負債	-	-	-	-
合 計	7,078,038	9,793,434	-	-

注記

1. 平均利率の算定には、期末時点の利率を用いております。
2. 長期借入金（1年以内に返済予定のものを除く）の貸借対照表日後5年以内における返済予定額は以下のとおりであります。

(千円)

	1年超2年以内	2年超3年以内	3年超4年以内	4年超5年以内
長期借入金	788,604	788,604	788,604	573,404

様式第八号

法人名 社会医療法人 杏嶺会
所在地 愛知県一宮市奥町字下口西89番地の1

※医療法人整理番号 326

有 価 証 券 明 細 表

【債 券】

銘 柄	券 面 総 額	貸借対照表価額 (千円)
該当なし		
計		

【その他】

種 類 及 び 銘 柄	口 数 等	貸借対照表価額 (千円)
該当なし		
計		

様式第九の一号

法人名 社会医療法人 杏嶺会

所在地 愛知県一宮市奥町字下口西89番地の1

※医療法人整理番号 326

事業費用明細表

(単位：千円)

区 分	本来業務事業費用			附帯業務 事業費用	収益業務 事業費用	合 計
	事業費	本部費	計			
材料費	8,279,014	-	8,279,014	13,878	384	8,293,277
給与費	15,815,781	543,906	16,359,687	720,191	4,834	17,084,713
委託費	763,507	91,386	854,894	1,959	53	856,907
経費	2,695,057	139,623	2,834,680	48,494	1,674	2,884,849
売上原価	3,849	-	3,849	-	-	3,849
その他の事業費用	2,112,394	8,760	2,121,154	46,987	3,650	2,171,792
計	29,669,604	783,676	30,453,280	831,511	10,597	31,295,389

令和5年6月1日

社会医療法人 杏嶺会
理事会 御中

PwCあらた有限責任監査法人
名古屋事務所
指定有限責任社員 公認会計士
業務執行社員

小笠原 修文

監査意見

当監査法人は、医療法第51条第5項の規定に基づき、社会医療法人 杏嶺会の令和4年4月1日から令和5年3月31日までの令和4年度会計年度の貸借対照表、損益計算書、重要な会計方針及びその他の注記並びに財産目録（以下「計算書類」という。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の計算書類が、全ての重要な点において厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に準拠して作成されているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「計算書類の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

強調事項

重要な会計方針を変更した旨等に記載されているとおり、当会計年度より、当医療法人の退職給付債務の計算方法を簡便法から原則法に変更している。

当該事項は、当監査法人の意見に影響を及ぼすものではない。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告書、純資産変動計算書及び附属明細表である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

当監査法人の計算書類に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

計算書類の監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と計算書類又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

計算書類に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に準拠して計算書類を作成することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類を作成するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算書類を作成するに当たり、理事者は、継続事業の前提に基づき計算書類を作成することが適切であるかどうかを評価し、厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に基づいて継続事業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

計算書類の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算書類に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算書類に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算書類の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 計算書類の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続事業を前提として計算書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続事業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続事業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において計算書類の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する計算書類の注記事項が適切でない場合は、計算書類に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続事業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 計算書類の表示及び注記事項が厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に準拠しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

法人と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上